

# Julabo Case Study

## JULABO PRESTO® A40

20Lのガラス反応容器で  
-20℃から+170℃の加熱運転。



### 目的

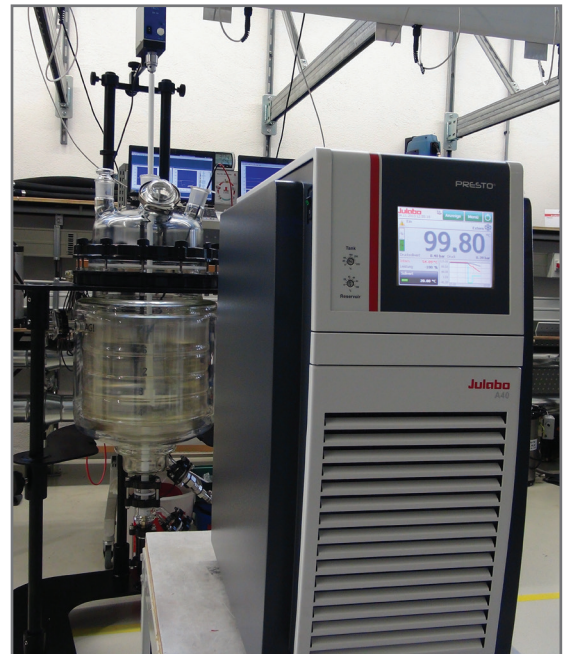
このケーススタディは、20リットルの三重管ガラス反応容器でJULABO PRESTO® A40の加熱運転テストをします。A40と20リットルの三重管ガラス反応器は、2.0mのメルチューブで接続されています。A40は、-20℃～+170℃の加熱運転するようにプログラムされています。

### 試験条件

使用機種	ユラボ社製 PRESTO®A40
冷却能力	+20 °C 1.2 kW 0 °C 0.9 kW -20 °C 0.6 kW
加熱能力	2.7 kW
バンドリミット	未設定
ポンプ圧力	0.40 bar
循環液	ユラボ社製サーマルHL40
反応容器	三重管ガラス反応容器 (容器内にサーマルHL40を18L充填)
ジャケット容量	7.0 L
温度制御	外部温度制御 (ICC)

### 環境

室温	+20 °C
湿度	45 %
電源	230 V / 50 Hz



### 試験結果

次ページのグラフをご参照ください。A40は、オーバーシュートすることなく2時間で-20℃～+200℃へ加熱運転することができました。

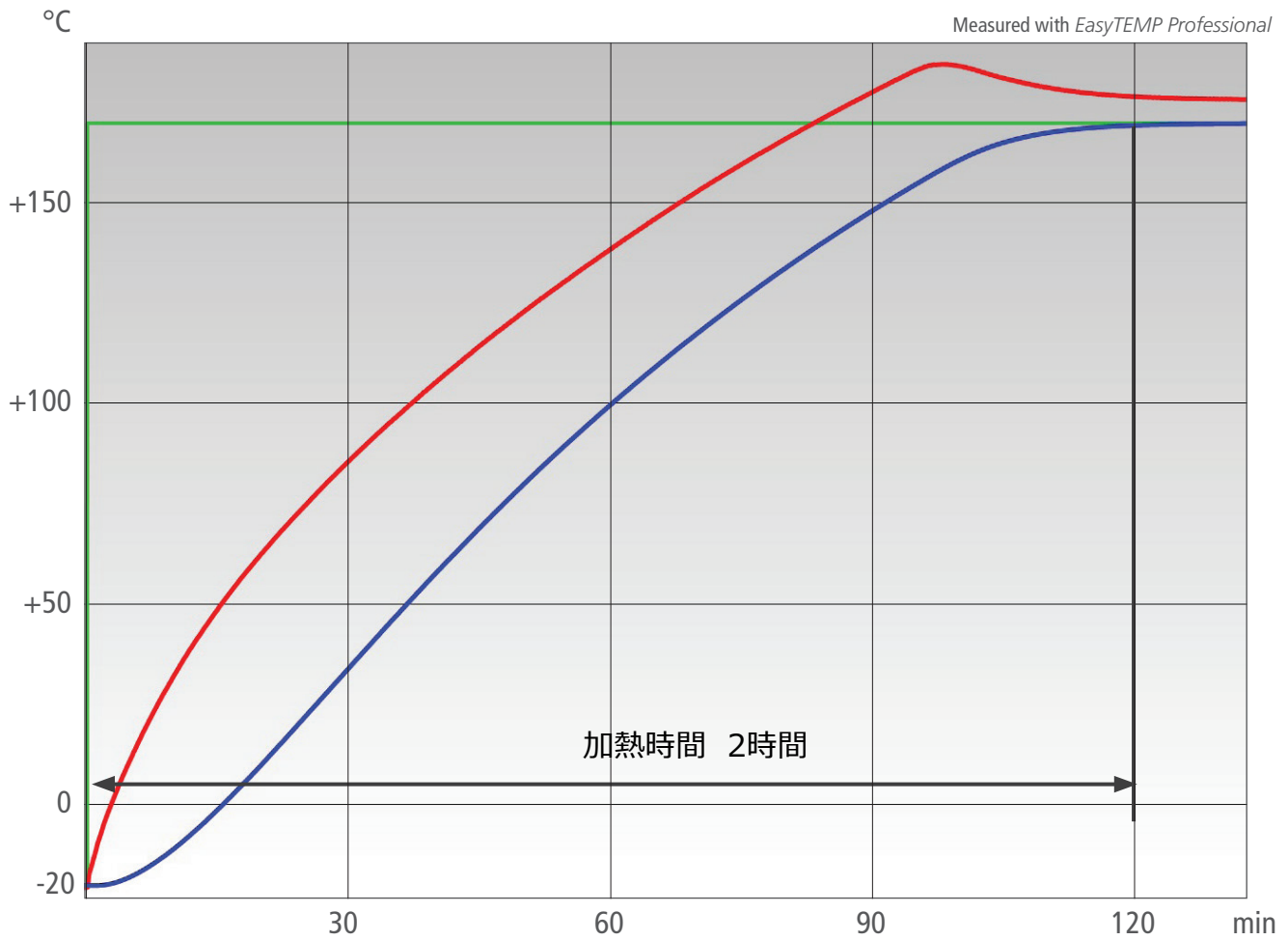
### その他機能

テフロンコーティングされたPt100センサーを使用しています。

次ページにも  
情報があります。



JULABO GmbH  
Eisenbahnstraße 45  
77960 Seelbach / Germany  
Tel. +49 (0) 7823 51-0



- 設定温度
- ガラス反応容器内温度
- ガラス反応容器ジャケット温度

**その他機能**  
 ポンプ圧力を調整するためのオプションがあります。ユーザーにて、ポンプ圧力を設定する事が出来ます。

**その他機能**  
 PRESTOの機能をイーサネットインターフェイスにて操作する事が可能です。

JULABO GmbH  
 Eisenbahnstraße 45  
 77960 Seelbach / Germany  
 Tel. +49 (0) 7823 51-0